

職員・患者から10万円 濟生会松阪総合病院も救援金



竹上市長（左）に募金箱を手渡す清水病院長＝市役所で

松阪市朝日町一区の社会福祉法人恩賜財団・濟生会松阪総合病院（清水敦哉病院長）が15日、日本赤十字社の「2023年トルコ・シリア地震救

援金」に10万4693円を寄付した。午前11時に清水病院長（62）が市役所を訪れ、日赤三重県支部松阪市地区地区長の竹上真人市長

に手渡した。同病院では今月初旬から院内の各部署へ募金箱を回すとともに、外来受付カウンターにも募金箱を設置した。

12年前の東日本大震災では被災地の陸前高田市へ支援に駆け付けた経験を持つ清水病院長は「直接トルコへというわけにはいかないが思いを届けられたら」と言い、「コロナ禍の後には南海トラフ対策を立てないといけないと思っっている。トルコ地震は本当に人ごとではない」と話していた。

